

2023年9月25日
南海電気鉄道株式会社

＼IT 技術レベルは？日本語能力は？…すべての疑問を解消します／
ネパール IT 人財×企業担当者
「第2回 Japal 交流会」を開催！



「第1回 Japal 交流会」の様子①(2023年4月)



「第1回 Japal 交流会」の様子②(2023年4月)

南海電気鉄道株式会社(社長:岡嶋 信行)は、「**第2回 Japal 交流会**」(会場:Jungle Namba)を10月13日(金)に開催します。

本イベントは、当社が推進する海外 IT 人財紹介支援サービス「Japal」(ジャパール)を、より安心してご利用いただくために実施するもので、①来日就業しているネパール IT 人財 ②Japal 利用実績がある企業(以下、利用企業) ③IT 人財採用にお困りの企業(以下、検討企業)等が一堂に会し、それぞれの悩みごとや不安の解消を図るものです。

さらに、Japal を通じて来日しているネパール IT 人財のコミュニティを創生し、安心して日本で働き、生活できる土台を本イベントにて築いていきます。

当日は、在日本ネパール大使館 Durga Bahadur Subedi 大使閣下ほか、「Japal」を通じた“外国人との共生”を推進する連携協定を結んだ金融機関などを含め、総勢100名以上(ネパール IT 人財20名含む)が参加予定です。

なお、「第1回 Japal 交流会(2023年4月開催)」には、総勢82名が参加しました。開催後のアンケートでは、「ネパール人財の皆さまの人柄を採用前に知ることができ満足でした。日本語能力の高さも良い意味で驚きでした。」といった声が検討企業から寄せられるなど、海外 IT 人財採用に関する不安の払拭に寄与したほか、海外 IT 人財採用へ初めて挑む企業が、当社と共に歩む決断をしていただく機会とすることもできました。

詳細は、以下のとおりです。

1. 第2回 Japal 交流会

◆日 時 : 2023年10月13日(金)19:00~21:00 <受付開始18:30~>

◆会 場 : Jungle Namba(ジャングルなんば)

住 所: 大阪府大阪市浪速区難波中1-12番地

◆参加費用 : 無料

◆参加対象 : 企業や各団体にて、高度IT人財の採用にお困りのご担当者 など

◆参加人数 : 最大人数 約130名 ※先着順となりますので、ご了承ください。

◆申込み方法 : メール、または、お電話にてお申込みください。

担当者: 経営戦略グループ 事業戦略部 塚本 洋平

メール: youhei.tsukamoto@nankai.co.jp

電 話: 080-8508-5223

◆申込み期限 : 2023年9月30日(土)18:00 〆切

◆主 催 : 南海電気鉄道株式会社、TERAKOYA Academia,Inc.

◆後 援 : 在日本ネパール大使館、株式会社今西組、株式会社大倉、株式会社 WORLD FESTIVAL、
一般社団法人 Transcend-Learning、行政書士法人第一総合事務所

◆協 力 : 池田泉州銀行、紀陽銀行、三十三銀行、群馬銀行、三菱 UFJ 銀行、
七十七ヒューマンデザイン株式会社(七十七銀行子会社)

◆行 程 :

時間	概要	備考
19:00~19:30	開会の挨拶 オリエンテーション	在日本ネパール大使館 Durga Bahadur Subedi 大使閣下 南海電気鉄道株式会社 常務執行役員 CSO 松本保幸
19:30~20:50	懇親会	都市型アウトドア BBQ 施設のざっくばらんな雰囲気の中、 ネパールの料理やお酒をお楽しみいただけます。
20:50~21:00	閉会の挨拶	TERAKOYA Academia,Inc. 代表取締役社長 Sharad Rai

2. これまでのあゆみ

海外 IT 人材紹介支援サービス「Japal」に関する、これまでの軌跡をまとめています。2021年のサービス開始から、累計45名のネパール人材を31社に紹介してきました。

主旨	発表時期	概要
「Japal」 2021年3月 サービス開始	2021年 2月	南海不動産株式会社が日本の社会課題である IT 人材不足問題解決を目的に、ネパールの IT・技術系人材に無償で日本語・日本文化教育を提供のうえ、有料職業紹介を行う新規事業『Japal(ジャパール)』を2021年3月から開始。 https://nankaifd.co.jp/wp/wp-content/uploads/2021/02/Japal%E4%BA%8B%E6%A5%AD.pdf
ネパールの大学 「Softwarica College」と 業務提携	2021年 9月	事業のさらなる推進を目的として、ネパールの大学 Softwarica College of IT and Ecommerce と業務提携。本校は世界的にも評価の高いイギリスの大学 Coventry University の附属校としてネパール国内でも有数の大学。 https://www.nankai.co.jp/library/groupinfo/news/pdf/210914_1.pdf
南海電鉄が「Japal」を 南海不動産から 事業譲受 「外国人との共生」 戦略を推進	2022年 11月	南海電鉄は、中期経営計画「共創140計画」において、「沿線への誇りを礎に、関西にダイバーシティを築く事業家集団」を2050年の企業像として位置付けており、中長期的に外国人が住みやすいまちづくりを行い、外国人との共生を実現するべく「Japal」事業を南海不動産から譲り受けました。 https://www.nankai.co.jp/library/company/news/pdf/221101.pdf
産学金(南海電鉄×池田 泉州銀行×Transcend- Learning)で共創	2023年 1月	海外IT人材紹介サービス「Japal」を通じて、地元企業の成長を支援！ https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/230117.pdf
産学金連携を拡大 三十三銀行	2023年 7月	三重県、愛知県を中心とした地元企業の就職・定着の課題に対して、サービスを紹介。 https://www.nankai.co.jp/lib/traffic/information/pdf/230727.pdf
産学金連携を拡大 紀陽銀行	2023年 7月	大阪府、和歌山県を中心とした地元企業の 就職・定着の課題に対して、サービスを紹介。 https://www.nankai.co.jp/lib/traffic/information/pdf/230731.pdf
産学金連携を拡大 七十七ヒューマン デザイン	2023年 8月	宮城県を中心とした地元企業の就職・定着の課題に対して、サービスを紹介。 https://www.nankai.co.jp/lib/traffic/information/pdf/230801.pdf
産学金連携を拡大 群馬銀行	2023年 8月	群馬県を中心とした地元企業の就職・定着の課題に対して、サービスを紹介。 https://www.nankai.co.jp/lib/traffic/information/pdf/230822.pdf

参考：「Japal」とは？それぞれの視点から意義を考える



海外 IT 人財で、事業に挑戦と革新を。

・南海電鉄の視点

当社は、中期経営計画「共創140計画」において、“未来探索”を掲げ、中長期視点での成長を目指して、公共交通事業、まちづくり・不動産事業に続く、新たな事業の柱の創造に注力している。

中期経営計画の上段にあたる“2050年の企業像”では「沿線への誇りを礎に、関西にダイバーシティを築く事業家集団」を掲げているように、多種多様な人々が幸せに暮らせるまちづくりを進めることは“当社の使命”と認識していることから、外国人との共生に資する事業である「Japal」の拡大に挑戦している。

・IT人財(ネパールの視点)

ネパールは国策として IT 人財育成を強化しており、日本市場では馴染みが薄いものの、欧米やオーストラリアからの受託開発実績は多く蓄積されている。また、隣国インドとのつながりも深く、インド大手 IT 企業の影響のもと、最新技術のノウハウを持つエンジニアが豊富に存在しているのも特徴である。今後、「Japal」は、在日本ネパール大使館と協力の元でさらに推進していく事業であり、下記理由等により「日本の IT 産業の発展にネパールの強みを活かせる事業である」と高く評価されている。

- ①既に日本に多数在留しているネパール人の技能実習生や特定技能制度ではなく、ネパール現地企業で欧米各国のシステム開発に従事している高度人財に着目した点。
- ②事前に日本企業との就職内定契約を締結したうえで、来日するまでの費用(日本語教育、ビザ申請等)をネパールの人財へ無償提供しており、経済的な理由にとらわれず優秀な人財が来日できる機会となっている点。

・企業(日本)の視点

新型コロナウイルス感染拡大等の影響で、経営を取り巻く環境が大きく変化し、企業の存続や成長には、DX や IoT 化の推進が避けては通れない状況となった。

その中でも、様々な機関の調査でも述べられているとおり、国内での“IT 人財不足”は今後より一層深刻になると予測され、従業員の“リスクリング”等による IT 人財育成への機運が高まっている。

一方で、大企業だけでなく中小企業やベンチャー企業など、中長期的な視点での人財育成が比較的難しい経営状況にある企業にとっては、「Japal」を通じてネパール IT 人財の力を借りること(採用)は非常に大きな利点がある。

◆「Japal」公式ウェブサイトはこちら : <https://japal-nankai.com/>

以上